


指導資料

教育相談 第138号

 鹿児島県総合教育センター
平成30年4月発行

対象
校種
小学校 中学校 義務教育学校
高等学校 特別支援学校

「学校楽しいーと」, 「SNSチェックシート」 のアセスメントを基にした支援策の立案

「学校楽しいーと」, 「SNSチェックシート」をいかに的確にアセスメントし, 指導・支援に生かすことができるかが, 困り感をもつ児童生徒の支援には重要となる。ここでは, 担任とスクールカウンセラーが連携した支援策立案に向けた取組について提案する。

「学校楽しいーと」, 「SNSチェックシート」のより効果的な活用を図る「生徒指導実践力向上プログラム」や移動講座, 校内研究支援などの講義・演習を受講した先生方から次のような感想・意見が寄せられた。

- 「学校楽しいーと」の良さは分かっているが, 学級38人の生徒一人一人を分析するポイントが分からない。
- 校内研修でレーダーチャートの見方や下位項目に注目することは何となく理解出来たけど, それをこれからどのようにつないでいけばいいのか分からない。
- 「学校楽しいーと」, 「SNSチェックシート」の二つのシートをどのように関連させればいいのか分からない。

そこで本稿では, 「学校楽しいーと」, 「SNSチェックシート」の結果から気になる生徒としてスクリーニングした事例を基に, どのようにアセスメントし, 支援策を立案すればよいかについて具体的に述べる。

1 事例概要 対象生徒(中学3年A子)

(1) 出席状況

- ・ 小学校(4~6年)・・・8日以内の欠席
- ・ 中学1年生・・・10日の欠席, 2年生・・・34日欠席, 3年生(1学期)・・・8日の欠席

(2) 本人の状況

中学3年の5月, 3人グループの人間関係で悩み, 登校をしぶるようになる。登校を促す母親と言い合いになることがあった。

小学6年生の時に, 母親との連絡用にスマートフォンを持ち始め, 中学2年生の3学期頃から, 毎日, 深夜1時頃までLINE仲間とメッセージのやり取りをしている。母親がスマートフォンを取り上げようとする, ひどく抵抗し, 暴れることもあった。

2 アセスメント及び支援策立案に向けて

(1) 担任によるアセスメント

「学校楽しいーと」, 「SNSチェックシート」の結果は図1, 2のとおりであった。A子の担任は, 以下のようにアセスメントした。

〈担任のアセスメント〉

- 「学校楽しいーと」のレーダーチャートをみると, 「友達との関係」, 「心身の状態」, 「学級集団における適応感」, 「自己肯定感」が低い状態にある。
- 友達から無視されたり悪口を言われたりする「いじめ」がある。
- 「SNSチェックシート」から, ほぼ毎日, 2時間以上, ほとんど学校外のメンバーとSNSでやりとりをしている。
- 「『SNSを巡るトラブル』発生後の対処の意識」, 「『即レス』の悩み・負担感」, 「『SNS利用のやりとり』の親和性」に課題がある。

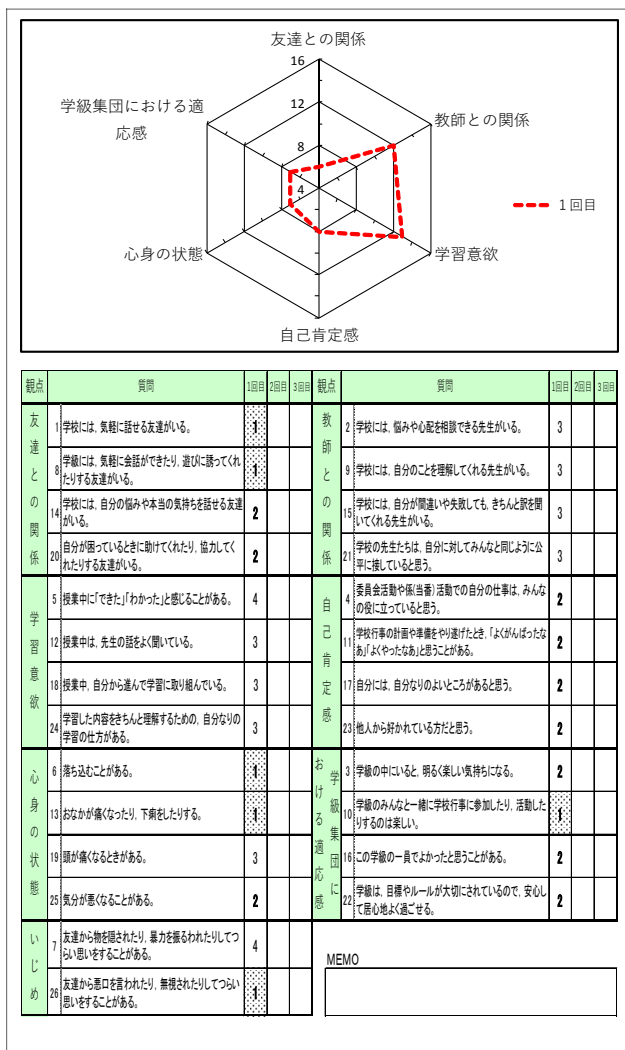


図 1 「学校楽しいーと」の結果

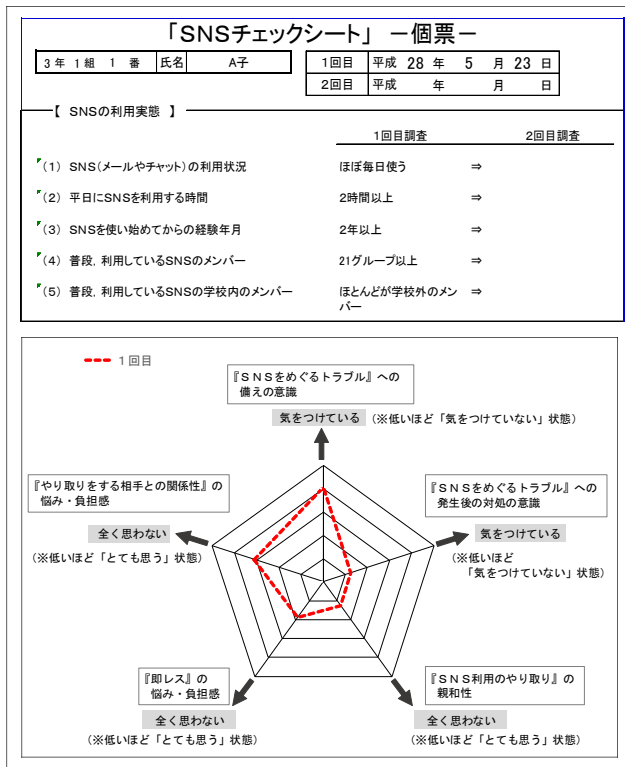


図 2 「SNSチェックシート」の結果

(2) スクールカウンセラー (SC) と連携した取組

担任は、SCにA子さんの今後の支援についてアドバイスを求めた。以下に、担任とSCとの面談の様子を示す。下線部は、そのやり取りの中でアセスメント及び支援策の立案でのポイントとなるところである。



担任

A子さんの「学校楽しいーと」と「SNSチェックシート」のアセスメントをしてみました(前頁)。それを基に今後のA子さんの支援策を考えていきたいのでアドバイスをお願いします。



分かりました。A子さんの状況は大体把握しています。先生がアセスメントして特に気になる点はどこでしょうか。



担任

「友達との関係」、「心身の状態」が心配です。今、学校に来たがらないのも、友達とのトラブルが原因だと考えています。それに、毎日深夜までLINEのやり取りをしていることで、生活のリズムが乱れ、朝起きられないことも要因ではないかと考えています。



A子さんのSNSのつながりは、ほとんどが学校外のメンバーですね。他に気付いたことはありますか。



担任

「自己肯定感」も全項目「2」を付けているので、「自己肯定感」を高めることが必要かなと思います。「友達との関係」がよくなれば改善すると思います。それに、「『即レス』の悩み・負担感」と、「親和性」があることが心配ですね。LINEにのめり込んでやめられない状況のようです。



先生は、「友達との関係」がよくなれば「自己肯定感」も高まると、そして、LINEでやり取りする時間が減れば、生活の乱れもなくなり、学校にも来られるようになるのではないかとお考えなんですね。



担任

はい、特にスマートフォンの使い方については、家庭に相談して、このままの状態が続くようでしたら解約をお願いしようと思っています。



そうですか。では「友達との関係」について、先生はどのようにお考えですか。



担任

2年生の3学期にも友達とのトラブルから登校しぶりがあったと聞いています。本人のコミュニケーションの取り方に課題があるのではないかと思いますので、友達との関わり方を教えていきたいと考えています。

そうなんです。では、ちょっと視点を変えて考えていきましょう。この二つの質問紙から、A子さんが自分としては頑張っている、いいと思っ
ところ（ストロングポイント）はどこだと思
いますか。



SC



担任

レーダーチャートが広がっていると、数値が高いのがストロングポイント
ですよね。「学校楽しいと」で
は「学習意欲」が広がっています。特
に「授業中に『できた』、『分かった』と感
じることがある」は「4」を付けています。

そう、A子さんは、気分不良を訴えて欠席や遅刻することはあっても全く学校に来ないわけではないですよ。A子さんは「授業中も頑張っ
ている」、「もっと分かりたい、できるようになりたい」
と
思っていますので、この点をうまく支援に結び付けられるといいですね。



SC



担任

A子さんは、地元のB高校への進学を希望しているのですが、今の成績だとちょっと厳しいので、「このまま休みが続くと勉強がますます分からなくなるよ。」と言って励ましたんです。「2年生の3学期から学習塾に通って勉強を頑張っている。その学習塾の友達にLINEでいろいろと相談している。」と本人は話していました。A子さんは、勉強をもっと頑張りたいと思っていたんですね。私は、LINEでのつながりが気になって、学習塾を変えたほうがいいのではないかと考えていました。

学校での友達関係で悩んでいて、
学習塾で知り合った友達に相談して
気持ちの安定を図っていたのだとし
たら、スマートフォンの解約はあまり
良い方法とは言えないかもしれませんね。
「SNSチェックシート」から何か気付きま
せませんでしたか。



SC



担任

「『トラブル』への備えの意識」がストロングポイントになっています。これはおそらく、学年全体で、「SNSでのコミュニケーションの取り

方」について、実際にネット上で炎上した例を取り上げて授業をした結果だと思います。やはりA子さんの家庭には、禁止ではなく、SNSの使い方について協力を得ながら指導・支援をしていきたいと思っています。

その方針でいいと思いますよ。
「学校楽しいと」で他にスト
ロングポイントはありますか。



SC

「教師との関係」は広がりがみえま
すね。でも、私は、A子さんを初めて
受け持ちますし、昨年まで授業も担当
担任 していませんので、あまり接点がない
んですよ。

この「教師との関係」は担任の先
生だけを指すのではないですよ。
特に中学校は教科担任制ですし、部活
SC 動もありますからね。いずれにしても、A
子さんは先生たちとの関係を「いい状態
だ」と思っています。これはA子さんを指
導・支援する強み（リソース）になりま
す。A子さんが頑張っている、頑張ろうと
思っている「学習面」に先生たちが関わる
ことができるチャンスです。先生は友達と
の関係がよくなれば「自己肯定感」が高ま
るのではと考えたようですが、
「自己肯定感」は自分が頑張っているところ、良い状態
にあると思っ
ているところが他者から認められること
によって高まるものです。また、自分を理解してくれていると当の本人が思っ
ている「他者」が認めてくれるとより効果的
です。A子さんは、先生に「勉強で頑張っ
ているところを認められたい」と思っ
ているのではないのでしょうか。



SC

そうなんですか。私がA子さんに
励ましのつもりで言ったことは、逆
にA子さんを傷付けていたのかもしれ
担任 ないんですよ。

私のA子さんのアセスメントです。



SC

- 友達から悪口を言われたり、無視されたりして困っている。
- つらくて体調が悪くなることもある。それでも、何とか学校に登校して、勉強を頑張ろうとしている。
- 学習塾で新しい友達もできて、その友達にLINEで相談すると楽しくてついつい夜遅くまでやってしまい、朝起きられないこともある。
- 朝起きられず、学校を休んだり遅刻したりすることもある。



担任

とても参考になります。A子さんは最近保健室登校になっています。気分がよくなると教室に入ることもありますが、そのまま早退することもあります。教室に入るときも他人の目を非常に気にしているような気がします。昨日、本人と面談したときは「別室登校」を希望したのですが、私は甘えだと思っていました。

A子さんは「別室登校」を希望する理由を何と言っていますか。



SC



担任

「教室に入るのは苦しい。でも勉強はしたい。別室だったら学校に行ける。」と言っていました。A子さんと話をして、別室での時間割を作ろうと思います。

それはいいですね。A子さんの勉強したいというモチベーションを大切にして、「できた、分かった」を繰り返し体験させて達成感を感じるようにしましょう。そうすることで、「自己肯定感」は高まると思われます。「友達との関係」はどうしたらよいでしょう。



SC



担任

A子さんは、自分一人の勝手な解釈や思い込みが元で、周りの友達とトラブルになるということを繰り返しています。

個別に関われる良い機会ですから、ソーシャルスキルトレーニング(SST)を取り入れてみてはどうでしょうか。自他を理解し、相互に認め合うことに重点を置いたSSTから始めていかかもしれません。SSTは、①導入（「何をするか」、「なぜ必要なのか」の説明）②モデリング（よい・悪い見本）③リハーサル（練習）④フィードバック⑤般化（日常生活での定着）が基本的な流れです。特に「導入」、「動機付け」は大切です。本人が必要と感じていないことをやっても成果は出にくいものです。A子さんは高校への進学意欲が強いので、面接場面を意識したSSTをやるのが効果的ではないでしょうか。ワークシートを使った「自己紹介」のSSTがあります。



SC



担任

分かりました。SSTをクラス全体でも実施してみます。

「学校楽しいーと」、「SNSチェックシート」の結果から分かるA子さんの状況とそれに応じた具体的な支援策をまとめますね。



SC

A子さんの状況

- 学習意欲が高く、「分かるようになりたい、できるようになりたい」という思いが強い。
- 先生は、自分のことを理解してくれていると感じている。
- 友達関係で困り感を感じている。
- 体調不良を訴え、遅刻・欠席が続いている。
- 学級に居場所がないと感じている。
- SNS利用のトラブルへの対処の意識は高い。
- 学習塾で知り合った新たな友達とSNSでつながり、そのやりとりが楽しい。
- SNSでつながった友達とのやりとりが長時間になり、SNSへの親和性が強くなっている。

支援策

- 1 別室での支援を進める。希望する高校進学に向けて、時間割を作成し、個別の学習指導を行う。
- 2 SSTを計画的に行い、相手の意見を聞き入れ、自分の意見も言える力を培う。
- 3 スマートフォンの使い方について、ルールを作って守ることも含めて、本人・学校・家庭が一緒になって考える。

- は支援する際に生かせるストロングポイント
- は支援を要するウィークポイント

今後、実際に実行してみて、うまくいかなかったら、その都度修正してください。「うまくいっていることは継続、うまくいかなかったことは修正する」を原則に、柔軟な考え方で支援に臨んでほしいと思います。



SC



担任

一人でアセスメントするとどうしても偏った考えになってしまったので、非常に参考になりました。ありがとうございました。

児童生徒の指導・支援に当たっては、担任だけでなく学年部等の組織でアセスメントしたり、SC等にアセスメントを求めたりして、よりの確な見立てを行い、支援することが大切になる。各学校で今後の取組の参考にしてほしい。

—参考文献—

- 県総合教育センター「児童生徒の豊かな人間関係づくりに関する研究—SNSの利用による友人関係への影響に着目して—」平成29年 研究紀要
- 阿部利彦著『クラスで気になる子への支援 ズバツと解決ファイル NEXT LEVEL—達人と学ぶ!特別支援教育・教育相談のコツ』2012、金子書房

(教育相談課 日高 京美)